

令和 8 年度 第 2 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和 8 年 6 月 2 6 日（金） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 0 0 分

2. 開催場所 東金市役所 5 階会議室

3. 出席者 出席 2 1 名、欠席 7 名、事務局 6 名

出 席：1 号委員 遠藤委員（市民福祉部長）、長谷川委員（経済環境部長）、
豊田委員（都市建設部長）、松崎委員（教育部長）※

2 号委員 古川（敬）委員、今井委員

3 号委員 仲田委員、小川委員

4 号委員 中田委員、三須委員、吉井委員、古川（勇）委員
座古委員、宮川委員、布施委員、宮沢委員※

6 号委員 福浪委員

8 号委員 根来委員、ト部委員、小川委員※、藤井委員

欠 席：1 号委員 若林委員※

4 号委員 山口委員、石井委員、子安委員

5 号委員 土屋委員

7 号委員 稲田委員※

8 号委員 牛尾委員

※：新規委員

事務局：中田企画政策部長、子安地域振興課長、江澤地域振興課副課長、渡邊公共交通係長
伊藤主任主事、荒牧主事

傍聴者：5 名

4. 会議次第

1 開 会

・会議成立の報告

委員の過半数の出席（2 8 名中 2 1 名出席）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱
第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介

4 議 事

・議事案件

(1) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】資料 1

(2) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績について【報告】資料 2

(3) 令和 8 年度 (R8. 10-R9. 9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】資料 3

(4) 第 3 次東金市地域公共交通計画の進捗状況について【報告】資料 4

5. その他

第 4 次東金市地域公共交通計画 策定スケジュールについて

6. 閉 会

(1) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】

(事務局)

【資料 1—1、1—2、1—3 にて説明】

【質疑応答】

(A 委員)

当日キャンセルした場合には、その利用者にペナルティを与えるというのはいかがか。

(事務局)

以前に検討し、予約システム事業者と関東運輸局に確認したことがある。結論としては、システムの整備及び公平性の観点からペナルティの実施は難しい。

このことを踏まえてより多くの方が利用できる方法を考え、仮予約を防ぐべく一人あたりが保有できる予約数の見直しを今年度 4 月から運用開始している。

(B 委員)

豊成地区循環バスの行政負担率について、令和 7 年度に上昇している理由はなにか。

(事務局)

昨今の燃料費や人件費の上昇等により、循環バスの委託費についても上がっている。それに伴って、行政負担率も上がっている。

(C 委員)

01 各運行モードについて収支率を算出して毎年評価している自治体もある。すると、収支率が下がったからコミュニティバスやデマンドタクシーの運行を見直しするという話になったりするが、**実態としては利用者が伸びているのにも関わらず、燃料費あるいは社会的なインフラコストの上昇により収支率が悪化してしまうこともある。**

地域の足という本来の目的からすると、利用者は増えているのに運行を見直すというのはおかしい話である。そういった場合には、コストの上昇分を差し引いた形での収支率についても参考として記載した方がいい場合もある。

02 乗合タクシーの当日キャンセルについて、他の自治体では見られないほど異常な割合となっている。個人が公共に対する考え方について意識を変える必要がある。

具体的には、当日キャンセルが発生した際には、「あなたが当日キャンセルをしたことによって〇人が乗れなかった」といった踏み込んだところまで話をする。キャンセル者に対してそのことを理解してもらい改善する必要がある。予約回数の制限等で対応を続けていくと健全な利用者が利用しにくくなってしまう。

このことから、当日キャンセルについてはもう少し踏み込んだ対応をする必要があり、対人ということで難しい面もあるが丁寧に対応していただきたい。

03 コミュニティバスおよび乗合タクシーの1人当たりの運行経費について、福岡路線が1,018円、豊成路線が1,535円、乗合タクシーが2,267円となっている。

目標値はコミュニティバスが800円～900円と言われていて、近い数字にはなっている。乗合タクシーは、東金市は1,500円くらいを目標にしていきたい。

総じて、若干高めではあるものの健全な形で動いている印象である。

(2) 市内循環バス(福岡路線・豊成路線)利用実績について【報告】

(事務局)

【資料2-1、2-2にて説明】

【質疑応答】

(B委員)

収支率については今後も悪化する傾向にあるとのことですが、循環バス運賃の値上げは検討しているか。

(事務局)

人件費や燃料費等の社会的なインフラコストの上昇により収支率が悪化してしまうことは今後の傾向としてはあります。そこに対して「運賃の値上げを講じること」は収支率悪化を止める方法論の一つとしてあります。

しかし、運賃の値上げについては、利用者への負担も増えますし、非常に慎重な検討が必要だと思います。後々に検討する必要性は出てくるかもしれませんが、直近で実施することはありません。

(3) 令和8年度(R8年10月～R9年9月)地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】

(事務局)

【資料3-1、3-1補足資料、3-2にて説明】(承認)

→質疑無し

(4) 第3次東金市地域公共交通計画の進捗状況について【報告】

(事務局)

【資料4にて説明】

→質疑無し

【その他】

質疑応答がなかったため、事務局より下記について説明。

①第4次東金市地域公共交通計画の策定スケジュールについて(事務局)

参考資料を用いて説明。

【質疑応答】

(B委員)

バス停について、市で寄附を募るなどの方法によって椅子やベンチ、屋根などの設備を充実させることはできないか。

(事務局)

バス停ごとの乗車人数などの利用状況や、次期計画における今後の交通ネットワークの議論の中で、今後のバス停のあり方についても検討されていくものと捉えている。